

GRIスタンダード対照表

利用に関する声明	田辺三菱製薬株式会社は、GRIスタンダードを参照し、当該期間（2022年4月1日～2023年3月31日）について、本GRI内容索引に記載した情報を報告する。
利用したGRI 1	GRI 1： 基礎2021

一般開示事項

1.組織と報告実務

	開示事項	掲載場所
一般開示事項 2021	2-1 組織の詳細	<ul style="list-style-type: none"> > 事業概要 > 事業拠点 > グループ会社
	2-2 組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	<ul style="list-style-type: none"> > 事業拠点 > グループ会社
	2-3 報告期間、報告頻度、連絡先	<ul style="list-style-type: none"> > 編集方針

2.活動と労働者

一般開示事項 2021	2-6 活動、バリューチェーン、その他の取引関係	<ul style="list-style-type: none"> > 事業概要
	2-7 従業員	<ul style="list-style-type: none"> > 事業概要 > データ集（従業員とともに）
	2-8 従業員以外の労働者	<ul style="list-style-type: none"> > データ集（従業員とともに）

3.ガバナンス

一般開示事項 2021	2-9 ガバナンス構造と構成	<ul style="list-style-type: none"> > コーポレート情報
	2-12 インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	<ul style="list-style-type: none"> > 環境マネジメント
	2-13 インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	<ul style="list-style-type: none"> > 環境マネジメント（環境マネジメント推進体制）
	2-16 重大な懸念事項の伝達	<ul style="list-style-type: none"> > リスクマネジメント > 環境マネジメント

4.戦略、方針、実務慣行

一般開示事項 2021	2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	<ul style="list-style-type: none"> コポーレート情報
	2-23	方針声明	<ul style="list-style-type: none"> 各種ポリシー 人権の尊重
	2-24	方針声明の実践	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 人権の尊重
	2-25	マイナスのインパクトの是正プロセス	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 人権の尊重
	2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 人権の尊重
	2-27	法規制遵守	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 環境マネジメント（環境事故、環境法令違反の発生状況）
	2-28	会員資格を持つ団体	日本経済団体連合会、日本製薬団体連合会、日本製薬工業協会など

5.ステークホルダー・エンゲージメント

一般開示事項 2021	2-29	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダー・エンゲージメント
	2-30	労働協約	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ&インクルージョンの推進（健全な労使関係の構築）

マテリアルな項目

	開示事項	掲載場所	
マテリアルな項目 2021	3-1	マテリアルな項目の決定プロセス	<ul style="list-style-type: none"> マテリアリティ
	3-2	マテリアルな項目のリスト	<ul style="list-style-type: none"> マテリアリティ
	3-3	マテリアルな項目のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメント

経済

間接的な経済的インパクト

	開示項目	掲載箇所	
GRI 203 : 間接的な経済的インパクト 2016	203-1	インフラ投資および支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> 医療アクセス向上に関わる課題解決

腐敗防止

GRI 205 : 腐敗防止 2016	205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公正な事業慣行の推進（贈収賄・腐敗行為防止についての取り組み）
	205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公正な事業慣行の推進（贈収賄・腐敗行為防止についての取り組み） ▶ コンプライアンス
GRI207: 税金 2019	207-1	税務へのアプローチ	MCGグループグローバルタックスポリシー [PDF : 248KB] □
	207-2	税務ガバナンス、管理、およびリスクマネジメント	MCGグループグローバルタックスポリシー [PDF : 248KB] □
	207-3	税務に関連するステークホルダー・エンゲージメントおよび懸念への対処	MCGグループグローバルタックスポリシー [PDF : 248KB] □

環境

エネルギー

	開示項目	掲載箇所	
GRI 302 : エネルギー 2016	302-1	組織内のエネルギー消費量	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 目標と取り組み（マテリアルバランス） ▶ 気候変動への取り組み
	302-2	組織外のエネルギー消費量	▶ 気候変動への取り組み（サプライチェーンの温室効果ガス排出量の削減状況）
	302-3	エネルギー原単位	▶ 気候変動への取り組み（温室効果ガス（GHG）排出量の削減）
	302-4	エネルギー消費量の削減	▶ 気候変動への取り組み

水

GRI 303 : 水と廃水 2018	303-1	共有資源としての水との相互作用	▶ 目標と取り組み（マテリアルバランス）
			▶ 水資源への取り組み
	303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	▶ 汚染防止への取り組み（水質汚濁、土壌・地下水汚染）
	303-3	取水	▶ 目標と取り組み（マテリアルバランス）
▶ 水資源への取り組み			
303-5	水消費	▶ 水資源への取り組み	

生物多様性

GRI 304 : 生物多様性 2016	304-3	生息地の保護・復元	▶ 生物多様性への取り組み
-------------------------	-------	-----------	---------------

大気への排出

GRI 305 : 大気への排出 2016	305-1	直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ1)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 目標と取り組み (マテリアルバランス) ▶ 気候変動への取り組み (サプライチェーンの温室効果ガス排出量の削減状況)
	305-2	間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ2)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 目標と取り組み (マテリアルバランス) ▶ 気候変動への取り組み (サプライチェーンの温室効果ガス排出量の削減状況)
	305-3	その他の間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ3)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 気候変動への取り組み (サプライチェーンの温室効果ガス排出量の削減状況)
	305-5	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 気候変動への取り組み (サプライチェーンの温室効果ガス排出量の削減状況)
	305-7	窒素酸化物 (NOx)、硫黄酸化物 (SOx)、およびその他の重大な大気排出物	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 目標と取り組み (マテリアルバランス) ▶ 汚染防止への取り組み (大気汚染の防止)

廃棄物

GRI 306 : 廃棄物 2020	306-1	廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	▶ 目標と取り組み (マテリアルバランス)
			▶ 廃棄物削減・資源循環への取り組み
	306-2	廃棄物関連の著しいインパクトの管理	▶ 目標と取り組み (マテリアルバランス)
			▶ 廃棄物削減・資源循環への取り組み
	306-3	発生した廃棄物	▶ 目標と取り組み (マテリアルバランス)
			▶ 廃棄物削減・資源循環への取り組み
	306-5	処理された廃棄物	▶ 目標と取り組み (マテリアルバランス)
			▶ 廃棄物削減・資源循環への取り組み

社会

雇用

	開示項目	掲載箇所	
GRI 401 : 雇用 2016	401-1	従業員の新規雇用と離職	▶ データ集 (従業員とともに)
	401-3	育児休暇	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 (多様な働き方を支援) ▶ データ集 (従業員とともに)

労働安全衛生

GRI 403 : 労働安全衛生 2018	403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	> 労働安全衛生
	403-2	危険性（ハザード）の特定、リスク評価、事故調査	> 労働安全衛生
	403-3	労働衛生サービス	> 労働安全衛生
	403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	> 労働安全衛生
	403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	> 労働安全衛生
	403-6	労働者の健康増進	> 労働安全衛生
	403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	> 労働安全衛生
	403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	> データ集（労働安全衛生）
	403-9	労働関連の傷害	> 労働安全衛生
	403-10	労働関連の疾病・体調不良	> 労働安全衛生 > データ集（労働安全衛生）

研修と教育

GRI 404 : 研修と教育 2016	404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	> 人材育成
	404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	> 人材育成

ダイバーシティと機会均等

GRI 405 : ダイバーシティと機会均等 2016	405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	> データ集（従業員とともに）
--------------------------------	-------	-----------------------	-----------------

人権アセスメント

GRI 412 : 人権アセスメント 2016	412-2	人権方針や手順に関する従業員研修	> 人権の尊重
----------------------------	-------	------------------	---------

地域コミュニティ

GRI 413 : 地域コミュニティ 2016	413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	> 地域コミュニティの振興（史料館、道修町ミュージアムストリート、The道修町クラブなど）
----------------------------	-------	--	---

顧客の安全衛生

GRI 416 : 顧客の安全衛生 2016	416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	> 安定供給
			> 医薬品安全性／信頼性保証

マーケティングとラベリング

GRI 417 : マーケティングとラベリング 2016	417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	> 情報提供
			> 安定供給
			> 公正な事業慣行の推進